

協議会会議録

会議名称	第4回伊達市地域公共交通活性化協議会		
議 題	議事 ・議案第1号 伊達市地域公共交通計画(案)について ・その他		
開催日時	令和4年1月13日(木) 15:00 ~ 15:40		
場 所	だて歴史の杜カルチャーセンター 視聴覚室		
出席委員	岡村 崇央 会長代理、 高本 克彦 委員、長澤 直裕 委員、水上 真明 委員、 根本 信二 委員代理、 小松 周二 委員、佐伯 健一 委員、野々村貴寅 委員、三角 卓司 委員、 工藤 幹彦 委員、紺野 哲也 委員、矢内 孝昌 委員、片川 善明 委員、 千葉 哲也 委員代理、須藤 克志 委員、有村 幹治 委員、中村 健蔵 委員、 沖山 典嗣 委員（計18名）		
	所管部課名	企画財政部企画財政課	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

【協議会の概要】

1 開 会（事務局：企画財政課長）

2 議 事

◆議案第1号 伊達市地域公共交通計画(案)について

事務局から説明(資料「伊達市地域公共交通計画(案)」、資料1「意見書への回答」)

【質疑・意見交換】

■委員

伊達市の公共交通は乗継環境、待合空間に課題がある。地方から来る高校生等の乗継環境改善や観光客のため、将来的なバスターミナル等の設置について協議する、行政・バス事業者・商工会議所等によるプロジェクトの立ち上げ等を検討する記載があっても良いのではないか。

■委員

伊達市における乗継が多いバス停は、伊達駅前(伊達紋別駅前)から日赤前(赤十字病院前)までと広範囲に渡っていることから、新たな施設の設置よりも、バス停付近の既存の施設の活用が、交通結節点の機能強化として有効であると考えている。さらに、乗継地点周辺を散策するなど、利用者側の意識も変えていければ、より良い環境づくりになると考える。

■委員

交通結節点の機能強化に対してタクシーを活用するのは有効であると考えているが、利用者側にバス停から自宅までの間にタクシーを利用するという考えは少なく、また運転手不足等もあるため、ドア to ドアでの利用が多い印象である。

⇒施策の中にある「交通結節点の強化」について、より広がりを持たせた記載とする修正を行う。

■委員

計画(案)にはおおよその記載がなされており、文言としては問題はないと考えるが、ネットワークの再編や愛のりタクシーのA Iシステム導入について、エリアや金額などの具体の記載が足りない印象である。室蘭市でM a a Sの実証事業を行っているので、参考にするのも良いのではないか。

また、これからは高齢者もスマートフォンを使うようになるため、バスとタクシーや愛のりタクシーなどのマッチングも容易になってくる。

さらに、室蘭M a a Sで行った3市3町のアンケートを分析しているが、白鳥台(室蘭市)における乗合タクシーの月額乗り放題に関する設問では、中央値が約3,500円という結果(運転免許の有無を問わない場合、約50%)となった。乗り放題を行うには上限設定も必要であるが、事業者側としては月初に収入が確定するメリットがある。年度明けには分析結果を提供できるので、P D C Aでの検証に役立ててほしい。

■委員

地域公共交通計画の作成にあたっては、国庫補助を受けている地域間幹線系統ほどのバス路線であるかを協議会委員が共通認識として持ち、計画に明記しておく必要がある。

⇒指摘のとおり修正を行う。

【議案の採決】

■議案第1号 承認

(上記修正を加えた計画(案)によってパブリックコメントによる意見募集を行う)

◆その他

■事務局から説明

(資料2「伊達市地域公共交通活性化協議会と伊達市地域公共交通会議の一本化について」)

【質疑・意見交換】

なし

■委員

計画の推進にあたっては、事業者との連絡を密にして行っていただきたい。

3 閉 会